

●令和元年 8 月 23 日第 6 分科会◆防災教育（姫路市市民会館大ホール）

研究課題

いのちを守る防災教育

～家庭・学校・地域 いま私たちに出来ること～

基調講演者

林 春男氏国立研究開発法人防災科学技術研究所理事長

実践発表者… 姫路市立白鷺小中学校児童生徒

実践発表者 姫路市立飾磨東中学校防災ジュニアリーダー



コーディネーター 中杉隆夫氏 「PU 環太平洋大学客員教授・姫路市教育委員会前教育長

パネリスト…林 春男氏 基調講演者

パネリスト…佐藤敏郎氏一般社団法人 Smart Supply Vision 理事兼特別講師

パネリスト…横山恭子氏 特定非営利活動法人日本防災士会

パネリスト… 原田祐司氏 姫路市立飾磨小学校校長

アトラクション… ゆめさき明神太鼓保存会

アトラクション… 古知(こち) 小学校和太鼓クラブ

報告者 内灘 PTA 中村敏男

1995 年(平成 7 年)1 月に起こった阪神・淡路大震災からまもなく 25 年、その後も日本は数々の天災にも見舞われてきました。また今後も災害がつづいていくと感じこの分科会に出席することとなりました。

林 春男先生基調講演では「防災教育とは」についてお話しされました。

- 1、私たち自身が…。
- 2、災害に対する自分たちの防災力を向上させるために行う意図的な働きかけ。
- 3、自らを守ることが困難な人を支援するために行う意図的な働きかけ。
- 4、人生の危機に立ち向かい、それを切り抜けることを可能にする生きる力を育てる
- 5、家庭でも学校でも社会でも機会を捉えて行う。

と話されていました。また防災力を向上させるには「生きる力」が大切であり、いかに社会が変化しても自分で課題をみつけ、学び、判断、行動し周囲と共に協調し他人を思いやる心が防災力の向上にもつながる。

パネルディスカッションでは、防災は周囲との日頃からのコミュニケーションが大切です。避難したときの心、身体ストレスは気づ知らずの人から感じ、組織として協力していくのも、いかに日頃からの顔見知りになれるかが重要。町内会の行事、PTA 活動などに参加することが防災に繋がってくる。

